

年の瀬を迎えて

日本国内の小中学校で使う教科書は、検定を経て「教科書目録（文部科学省発行）」に記載されたものを使用しなければならない」と法律で定められています。小学校国語で言うならば、「東京書籍」「教育出版」「光村図書」の三社が登録されており、中学校は、この三社に「三省堂」を加えた四社ということになります。

各地域では、これらの中から一冊を採択することになり、それは採択する地域に任されているため、私の地元では、同じ県内であっても市町村によって使用する教科書が異なるという現象が普通に見られます。



では、日本人学校や補習校などの在外教育施設の教科書採択はどのようになっているかと言いますと、「国内で最も需要数の多い教科書を給与する（ただし全日制の施設は使用する教科書の変更も可能）」となっており、そのため、定日制の本校では、小中学部ともに国内需要最多の「光村図書」を使用するということになります。

その光村図書は、（私が思うところ）平和教育や環境教育に関する教材が多い印象があり、地球規模で物事を考える補習校生にとっては適しているのではないかと思います。

今回は、その平和教育教材を学んだ子どもの作文を紹介します。

かわいそうなちいちゃん

3年 難波遙乃

私は、「ちいちゃんのかげおくり」を読んで、第三場面が一番心にのこりました。なぜなら、お母さんとお兄ちゃんとはぐれて、ちいちゃんが一人ぼっちになってしまったからです。また、一人だけで少しのご飯を食べながら家族の帰りを何日もまっていた場面が、とてもかわいそうだと思います。私だったら、一人でいるのがこわくて、はす向かいのおばさんについていくと思います。ちいちゃんは、もしかしたら家族が帰ってくるかもしれないと思ったのかもしれませんが。

作者は、せんそうはこわいし、かわいそうな人たちがいたことを伝えて、せんそうを二度と起こしてはいけないということを教えたかったんだと思います。はやくこの世界からせんそうがなくなってほしいです。

原爆ドームが伝えたいこと

6年 佐藤百合恵

私は、「平和のとりでを築く」という本では、大きく言って二つのメッセージがあると思います。一つ目は、「原子爆弾が人間や都市にどんな惨害をもたらすかを私たちに無言で告げている」です。私が原爆ドームに行った時にも、その原爆ドームは私に何か

を語っているようでした。二つ目は、「未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけ
ない、いや、核兵器はむしろ不必要だと、世界の人々に警告する記念碑なのである」
です。私も、原子爆弾が、広島をどれだけ破壊したのかを見たことがあるので、この
考えに賛成です。

実際に原爆ドームの前にいた時、私は、この原爆ドームは、原爆で亡くなった人々の
分まで勇ましく立っている、と思いました。一緒にいた父は、日本やシンガポールで
は、平和は当たり前に見えるけれど、その平和を大切にすべきだと言っていました。

今年もまた新たな紛争が勃発し、世界全体が平和になる日が遠のきました。戦争経験者
もそうでない人も、学校も家庭も、機を捉えて、戦争がどんなに悲惨なものなのか、命が
いかに尊いものなのかを教え伝えていかなければならないと強く思っています。

それにつけても、年の瀬を迎え、今年一年、無事に過ごせたことには感謝しなければな
りませんし、保護者の皆様のご理解とご支援のお陰で補習校の一年が無事に終えることが
できそうです。来年こそは、世界全体が平和であることを切に願います。

日本の祝日と行事予定

【1月の日本の祝日】

1月 1日(月) 元日

1月 8日(月) 成人の日

【1月の行事等予定】

1月 6日(土) 冬休み明け授業開始 通常授業

1月13日(土) 標準学力検査(教研式CRT)実施

1月20日(土) 通常授業

1月27日(土) 節分集会(小1・2年生) P A総会 授業参観



学校からのお知らせとお願い

1 欠席対応について

本校では、事務業務の効率化を図るために校務支援システムの導入に着手しておりま
す。まずは、今年度中に、欠席連絡をスマホやパソコンから簡単にできるようにしたい
と思います。詳細については別途通知いたしますので、ご確認いただき、運用にご協力
いただきますようお願いいたします。

2 事務業務取扱時間について

12月22日(金) 事務業務取扱最終日 午後4時まで

12月23日(土)～1月3日(水) 事務業務休止

1月4日(木)～ 平常どおり



今年一年お世話になりました。よいお年をお迎えください。